

秋田県サッカー協会 御中

新型コロナウイルス感染症に対する見解です。
私的見解ではありますが、判断のご参考になれば幸いです。

「感染を防ぐ」これは、非常に難しいです。そのため、感染者と接触した場合は、感染リスク（高）と判断され、2週間の活動停止となります。
※別紙をご参照ください。かなりの防護具を着用しない限り、防げません。

感染者に接触した場合

<学校、部活、チーム活動の停止。仕事、職場の機能不全を招きます。>
感染者が特定され、その濃厚接触者と判断された場合、発症する・しない、感染の有無にかかわらず、2週間の経過観察が周囲に波及します。お店・会社の場合、経済的損失。病院の場合は、医療の崩壊を招く。

感染しないという考えより、感染を拡大させないという考え・行動が必要です。

感染者が特定された場合は、その感染者との接触者は、「濃厚接触者」と判断されると考えて、自らの行動を律します。

すなわち、自分が「感染者」「濃厚接触者」となった時、その状況が倫理的に恥ずかしくないものかが重要と考えます。

例) 飲酒を伴う会食を行った/3密の状況を見逃した行動/大丈夫だろうと感染リスクを軽視した行動など

秋田県サッカー協会として

感染は防げないので、感染したときの状況が最善を尽くしたものといえるかという指針が大切と思われます。

JFA 会長が感染し、それを踏まえ、対策に乗り出している以上、軽率な行動でサッカーファミリーから感染の拡大を招いた場合、世論の攻撃は免れません。

秋田県内では、活動を再開している学校、チーム、クラブが多く見られます。

移動をとまったり、行動履歴の把握が困難となるので、さすがに對外試合は自粛していると思いますが…

練習におきましても、対人練習や二人組でのストレッチ、近い距離での会話・プレー中のコーチングなど常に感染リスクを意識しているかが重要です。

- ① 秋田県と緊急事態宣言地域との違い
- ◎感染経路が特定できない症例がほぼない
 - ◎急速な増加はみられない

- ② ①を踏まえ秋田県の対策として

- ◎当日の検温、咳の有無
- ・毎日、確認

こちらは、当然の処置。

- ◎行動履歴の確認

- ・2週間前の行動履歴

本人、家族の中に、2週間以内に県外に行った人、県外から戻った人がいないか
そしてその地域の確認（国外の場合は、国名と帰国時の経路）

該当者は参加不可

①のため秋田県内では、どうしても緩みがちです。また、練習を中止するまでの対応はとりにくい状況です。

秋田県は県外からウイルスが持ち込まれる状況のため、現状では行動履歴の把握が重要と考えます。

練習、プレーの前に、②の確認をします。

体調の変化は皆さん注意してくれますが、家族を含めた行動履歴の把握（練習再開時のみならず、その変化を常に確認）が軽視されがちです。

また、子どもの場合は保護者の出張などを正確に正直に報告してもらうことが重要です。結果として2週間の練習参加停止になるかもしれませんが、仲間に感染を拡大しないということが大切なことであり、自分のプレー欲求に負けないことです。

感染は防げない→常に恥ずかしくない行動を

秋田県は県外から持ち込まれる状態→行動履歴の把握が重要

～秋田県の状況の変化に伴い、対策の変更を行う～

秋田県サッカー協会 医学委員長 佐々木大輔